

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所はなうた			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○法人内の他事業所に所属する言語聴覚士と密に連携した支援体制を整えています。利用児の言葉の発達やコミュニケーション、嚥下等に関する専門的な検査・アセスメントを実施しています。○言語聴覚士は、現場職員への相談役としても機能しています。日々の療育の中で、「ことばを引き出す関わり方」を専門的な視点でブラッシュアップしています。	○言語聴覚士による個別評価の結果やアドバイスを専門用語のままにせず、現場スタッフが日常の支援で実践できる具体的な動作や声掛けにして記録・共有しています。これにより、言語聴覚士が不在の日であっても全職員が一貫した言語支援・摂食支援を提供できる体制を整えています。	○今後は、専門職との連携をさらに強化し、職員全体の専門スキルの底上げを図ります。また、ICTツールの活用を広げ、家庭・学校・事業所の三者がより密に情報を共有できる仕組みを構築するとともに、災害対策(BCP)の更なる実効性向上に努め、いかなる時も利用児の安全と成長を支え続ける運営を推進してまいります。
2	○利用児一人一人の発達段階に合わせた「個別療育」と、お友達との関わりを学ぶ「小集団療育」を効果的に組み合わせた支援体制を構築しています。利用児の将来を見据えた多角的なサポートを提供できることが事業所の強みです。	○専門職による検査や相談役の知見を活かし、利用児の得意・不得意を詳細に分析します。その結果に基づき、個別療育の時間で、ことばや基礎学習、手先の動作など必要な課題にマンツーマンで集中して取り組みます。○個別療育で習得したスキルを、実際のコミュニケーションの場である小集団の中で実践します。専門的な視点を持ったスタッフが見守る中で、「お友達と一緒にできた」という成功体験を積み重ね、社会性や自己肯定感を育みます。	○専門的なアセスメント(検査)の結果をより分かりやすく保護者様へお伝えし、ご家庭でも無理なく取り組める「関わりのコツ」を共有する機会(個別面談・保護者研修会等)をさらに増やしてまいります。
3	○特別支援学校に通う中学部以上の利用児を対象に、早期から就労を意識した療育プログラムを取り入れています。挨拶やマナー、指示の理解といった「働くための基礎体力」を日々の活動を通じて段階的に育みます。	○当事業所では、お掃除や役割分担といった日常の活動を大切な学びの機会ととらえ、就労に不可欠なスキルの習得を工夫しています。日常の中での「報連相」の実践やその日の担当を提示し、チェックリスト等を用いて「自分が何を、いつまでに、どの程度行うか」を視覚的に管理する練習を行っています。スタッフはあえて「教えずぎない」で見守り、利用児自身が見通しを持って主体的に動けるような環境設定に努めています。	○実際の就労現場を意識したワークサンプルの導入や、作業工程の視覚化など、利用児が「自分でできた」と実感できる環境整備を進めます。個々の特性に合った進路相談や家庭での自立支援アドバイスもさらに充実させてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性のさらなる共有	言語聴覚士との連携体制は整っているが、専門的な技術がまだ一部のスタッフの経験値に頼っている部分がある。	言語聴覚士によるスタッフ向けの研修の回数を増やし、誰が担当しても質の高い専門的支援ができるように、マニュアルの整備を進めます。
2	就労支援のバリエーション	中等部からの就労療育において、現在のメニューが限定的である。	利用児の興味関心に合わせて、パソコン操作や軽作業の種類を増やすなど、より幅広い職種を想定したトレーニング環境を整えます。
3	保護者へのフィードバック	専門的な検査(アセスメント)の結果を保護者の方へよりわかりやすく、日常の関わりに活かせる形で伝えきれていない場合がある。	言語聴覚士の知見と全スタッフで共有するための内部研修を強化するとともに、ご家庭でも実践できる「具体的ななかわり方のコツ」をわかりやすくフィードバックする体制を充実させ、事業所と家庭が一体となった支援を目指します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 通所支援事業所はなうた

公表日 令和 8 年 2 月 5 日

利用児童数 34名

回収数 33名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	1		1		○法令の配置基準を遵守した配置を行っています。加配配置を適切に配置し、基準を上回る手厚い人員体制を構築しています。保育士・児童指導員を主体とした配置により、療育の質と安全性を両立させています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30				1	○リフォームもされ、荷物を置く場所や部屋など使いやすそうです。視覚支援も工夫されて子どもたちも主体的に動けるようになっています。	○児童の特性に応じた視覚的な構造化を推進しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31						
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1			○楽しみながら意欲的に取り組めるようにしていただいています。	○毎月ケース会議を開催し、一人一人の特性、課題に合った支援を相み立てています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1				○それぞれにあった課題や、保護者の意向を踏まえた上で個別支援計画を作成しています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30				1	○活動プログラムが固定化・形骸化しないようPDCAサイクルによる継続的な見直しを徹底しています。日々の活動後に「振り返り会議」を実施し、児童の反応や達成度に基づき次回のアプローチを微調整するほか、内外部専門職（ST・PT・OT等）の指導を仰ぎながらプログラムの柔軟性と質を確保しています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	6			14	○利用児の多くが公立小学校等の集団生活に並行して通っており、日常的に他児との交流機会が確保されているため、当事業所内での交流設定は行っておりません。各学校での活動が円滑に進むための後方支援に特化しております。○長期休暇には、きょうだいの日を設け、きょうだい児と一緒に活動する機会を設けています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30							
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31							
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	1				○今後の事を見据えた研修会が定期的に実施され、参加時期の検討がしやすく助かります。	○今年度は7回ペアレントプログラム研修を開催いたしました。次年度も開催予定です。	
15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1				○困り事など相談すると、すぐに対応していただけます。○家での様子、困り事を相談させてもらっています。○病気についても理解してくださり、活動に取り入れるなど状況に合わせて対応してもらっています。○連絡帳やお迎え時等を利用して細かい情報共有ができています。	○連絡帳や送迎時に情報共有ができるよう努めています。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1		☐困りごとに対するアドバイスや対応等いつも心強いです。	☐定期的な個別面談の機会を設けております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	1	1		☐きょうだい児交流の機会を設けたり、保護者会の開催も行いました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30		1	☐もう少し上げて欲しいです。☐発信は定期的にされていて分かりやすいです。☐はなうただよりは写真も多くていつも楽しみにしています。玄関の写真も日頃の様子がよく伝わります。	☐定期的なインスタグラムの更新、おたよりの発行を行っています。また、自己評価の結果はホームページに掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30		1		☐契約時に周知していただけるように説明をしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26		5		☐定期的に避難訓練を行っています。今年度は5回実施しました。利用児一人一人が参加できるよう日程を組んでいます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30				☐安全計画を作成し、閲覧できるよう玄関先に置いております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30		1		☐事故等が発生した際には速やかに保護者へ連絡と状況の説明を行い、必要に応じて病院受診を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30			☐どんな活動をしたかよく話をしてくれます。毎回楽しみに行っています。☐同じ曜日に利用しているお友達と話をすることを楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30			☐丁寧な対応をさせていただきいつもありがとうございます。☐いつもありがとうございます。	

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 通所支援事業所はなうた(重心型)

公表日 令和 8 年 2 月 5 日

利用児童数 10名

回収数 10名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますが、また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9				1	◎重症心身障がい児及び医療的ケア児の命を守る安全管理の観点から、不特定多数との接触を伴う地域交流行事は、感染症対策としてあえて実施を控えています。その代替として、隣接する放課後等デイサービスの利用児の健康状態を確認し、交流の機会は設けています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9				1	◎ペアレントプログラムとしてアロマワークなども開催し、保護者間の交流の場を設けています。また、「きょうだい児」についての講演会も開催しています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				◎契約時に周知していただけるように、説明をしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				◎何年も利用していますが、子どもはハレノヒがある日を楽しみに毎日の学校を頑張っています。「あと何回復たらハレノヒの日だからね」というと「はい！」と返事をしてくれて、親もとても嬉しいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				◎講習会やイベントに中々行けなくてすみません。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	通所支援事業所はなうた（重心理含む）				公表日 令和 8 年 2 月 5 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	◎グループに分かれて各部屋で活動しているの で、広さは確保できています。◎個別、集団どち らにも適した広さです。◎活動内容や個人の特性 も考慮して部屋の区分けも行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である か。	11			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている か。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化 や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		◎各部屋の入口にイラストで分かりやすく表示し ています。◎子どもの特性に合わせて環境を整え ています。◎動線も一本化しており情報伝達もし やすいです。◎バリアフリー化されており、危険 と思われるものは最低限取り除かれています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		◎必ず清掃を行い、活動しやすい環境に工夫して います。◎月に1回、クリーン週間を作り、環境調 整ができています。◎利用者様の動きに合わせて 適宜クッションやマットを敷くなどの工夫がされ ています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら れる環境になっているか。	11		◎クールダウンや個別対応する際に臨機応変に部 屋を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り） に、広く職員が参画しているか。	11		◎ケース会議を定期的に行い、全スタッフが参加 しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	11		◎意見箱を設置している他、事業所評価、保護者 面談の機会を設けています。◎ケース会議にて保 護者アンケートの結果を共有し改善を進めていま す。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	11		◎定期的にケース会議や個別面談を行い、意見交 換をしています。◎委員会にて振り返りシートを 活用し検討しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	6	2		◎今後検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	11		◎定期的に研修会を開催したり、必要に応じてミ ニ研修などを行っています。◎外部研修も積極的 に行い、療育の疑問点が上がればそれに合わせた 研修もしていただいています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		◎ホームページで公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計 画を作成しているか。	11		◎ケース会議で話し合い、計画に落とし込んでい ます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責 任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こ どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		◎毎月ケース会議を開き、児童について話し合っ ています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援 が行われているか。	11		ケース会議で共有されており、取り組んでほしい 事を要点をまとめて紙面化し、スタッフが常に確 認できるように工夫しています。◎話し合った内 容を基に支援を行い、結果の確認をし改めて支援 内容を採むという流れができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	11		◎必要に応じた検査の実施や行動観察後、スタッ フ同士で共有しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい 及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に 設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		◎保護者面談やスタッフ同士の会議を設け、具体 的な内容を設定しています。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		◎ケース会議や、毎日のミーティング時にも行っています。また、毎日プログラムに対してのPDCAを出勤者で行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		◎その時の困り事やメンバーによって活動内容を変えて取り組んでいます。◎毎回のミーティング時プログラムを見直しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		◎集団活動への般化も考えつつ、プログラムの立案を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		◎朝礼、昼礼で必ず行っています。◎個別対応、環境設定などをチームで考え行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		◎翌日に振り返りを行っています。（長期休暇時は当日の支援終了時）◎ワークシステムの取り組みなど気づいた点は話し合っており、毎日振り返りの時間も設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		◎毎日日誌・ケース会議に記入し、情報を共有しています。◎活動プログラムを作成する際に、記録を見て検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		◎ケース会議で行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		◎子ども主導で、主体性に合わせた支援を行っています。◎二択の選択練習をしたり、視線や他の道具を使って意思表示、自己決定できるよう支援に組み込んでいます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		◎児発管や主任が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		◎保育所等訪問を通じて国や学校、他機関との連携が取れています。◎担当者会議にて他の事業所の方と情報交換を行っている他、送迎時学校の先生と情報共有ができています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		◎送迎時や保護者を通じて行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		◎担合などで共有している他、移行支援シートを活用しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		◎移行支援シートの作成を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		◎児童発達支援センターとの連携強化を図り、諸手続き等が明確になれば、スーパーバイズや助言もいただきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		◎地域の公園や公共施設を利用した際に交流をしたり、スタッフのお子さんが来て交流体験をすることもあります。また、きょうだい児交流を実施し交流を行います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11			◎学校の協議会や市の協議会の参加をしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			◎連絡帳や電話（LINE・メール）で情報を共有しています。また、送迎時にフィードバックも行っています。◎フィードバック時に最近の様子や課題も確認しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11			◎定期的に事業所でペアトレ、研修の機会を設けています。情報提供に紙面やLINE等も活用しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			◎契約時にご説明をいただいています。

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		◎年1回の個別面談を行い、保護者の意向の確認や支援内容の確認を行っています。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			◎随時相談事には対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11			◎長期休暇にはきょうだい児交流の機会を設けています◎保護者会も実施している他、ベアトレの一角でアロマワークも開催し、保護者同士の交流を図っています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11			◎おたよりや行事予定表の作成、SNSなどを活用し、発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			◎契約時に個人情報の取り扱いについて説明しています。スタッフも契約書類の中にある同意書等の注意事項を確認しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			◎電話連絡や連絡帳など、様々な連絡ツールを用意し、保護者が連絡手段を選択できるように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11			◎地域行事への参加を行っています。◎「きょうだいの日」や「ベアトレ」の実施や、実習や見学の受け入れなども行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			◎マニュアルを作成し、定期的に研修や訓練を実施しています。また、契約時に説明を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			◎年間計画時に訓練時期も定め、定期的に行っています。また、利用児全員が参加できるように計画を立てて訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11			◎保護者を通じて医師に確認しています。◎契約時に確認をして、対応策まで説明し、保護者に同意をいただいています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11			◎保護者を通じて行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			◎安全計画ファイルを入口に置き、常に確認できるようになっています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			◎定期的に活動案内を作成し、安全計画についても周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			◎ヒヤリハットが発生した場合は、様式に記入し全員で共有するため回覧をしています。◎ミーティング時や全体会議の際にも改めて伝えていきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			◎定期的に自己評価と改善点、疑問点などを挙げ虐待の芽を摘む取り組みをしています。また、年に1回、虐待防止研修に参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11			◎身体拘束について、契約時にお伝えしています。また、必要に応じて同意書を作成し保護者に同意をいただいています。	